

# 平塚市青少年問題協議会委嘱式及び

## 令和 8 年度第 1 回全体会議 会議録

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 日 時 | 令和 8 年 8 月 2 1 日（金） |
|     | 午後 2 時～ 3 時 3 0 分   |
| 場 所 | 文化公園会館 3 階大会議室      |
| 出席者 | 委員 19 人             |
|     | 幹事 14 人             |
|     | 傍聴者 0 人             |
| 欠席者 | 委員 4 人              |
|     | 幹事 2 人              |
|     | （うち委員兼務 1 人）        |

### 1 開会

#### 【事務局】

### 2 委嘱式

#### 【事務局】

- ・会長である落合市長から委員に委嘱状交付した。
- ・事務局より幹事を紹介した。

### 3 挨拶

#### 【市長】

- ・日頃から青少年へのご理解、健全育成、それから非行化防止大変なるご尽力をいただいております、重ねてお礼を申し上げます。
- ・このたび青少年問題協議会の委員という形でご就任をいただき、心から感謝を申し上げます。新たな委員をお迎えして、新しい体制でこの青少年問題協議会のスタートになる。本市の青少年健全育成のために、どうか皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。
- ・今年度の実践的な取り組みといたしまして「夏のプチ子どもの家」を駅周辺の小学生を対象に 7 月 27 日から 8 月 7 日まで中心市街地にあるまちかどベースきちきちで開設した。市内には 4 館ある子どもの家が中心街に出張した形になる。多くの小学生が訪れ、夏休みの小学生が安心して過ごせる居場所を提供ができたものと考えている。
- ・昨年と引き続きびわ青少年の家の魅力アップ事業として 9 月から宿泊棟の修繕を行う予定である。子供たちがより安全に快適に自然体験ができるそういう場を維持することが必要だと思っている。
- ・各種事業を通じて、子供たちが安心して過ごせる居場所づくりに平塚市として取り組

む今後もより一層本市の青少年健全育成・非行化防止となるように努めて参りたい。

#### 4 自己紹介

##### 【委員】

- ・自席から自己紹介を行った。

#### 5 議事

##### 【事務局】

- ・過半数の委員出席による会議成立の報告
- ・会議資料の確認
- ・青少年問題協議会委員の説明

##### (1) 協議事項

###### ア 副会長の選出について

##### 【事務局】

平塚市青少年問題協議会条例第3条第3項に基づき、副会長を2人選任したい。

《意見等なし》

##### 【事務局】

事務局案として重田委員と片野委員にお願いしたいが、選任にあたり、意見があるか確認。

《意見等なし》

拍手による賛成多数により承認された。

《重田委員及び片野委員は副会長席に移動。議事進行を片野副会長に移す。》

###### イ 専門部会の構成について

##### 【事務局】

青少年育成部会、青少年指導相談部会、青少年育成施設部会の3つの専門部会があり、青少年の健全育成、指導相談、育成施設に関することを各部会で審議する旨の説明をした。各部会の委員構成及び各部会長・副部会長の事務局案を提案したい。

- |     |           |                      |
|-----|-----------|----------------------|
| (ア) | 青少年育成部会   | 部会長（相馬委員）、副部会長（野中委員） |
| (イ) | 青少年指導相談部会 | 部会長（井出委員）、副部会長（鈴木委員） |
| (ウ) | 青少年施設部会   | 部会長（花村委員）、副部会長（重田委員） |

##### 【片野副会長】

選任にあたり、推薦や意見があるか確認。

《意見なし》

【片野副会長】

拍手による賛成多数により承認された。

ウ 神奈川県青少年育成活動推進者表彰及び平塚市青少年健全育成功労者表彰の  
審査委員の選出について

エ 少年の主張作文コンクール(小学生の部、中学生の部)審査員の選出について

【事務局】

当協議会から、「ウ」に4人の審査委員の選出、「エ」の小学生の部に3人、中学生の部に3人の計6人の審査員を選出していただきたい。

【片野副会長】

選任にあたり、推薦や意見があるか確認。

《推薦・意見等なし》

【事務局】

事務局案としては、次のとおりお願いしたい。

ウ：小林委員、花村委員、重田委員、目黒委員

エ：(小学生の部)宮田委員、長岡委員、津田委員

(中学生の部)伊沢委員、鈴木委員、相馬委員

《推薦・意見等なし》

【片野副会長】

拍手による賛成多数により承認された。

## (2) 報告事項

オ 令和7年度青少年育成事業報告について

【幹事】

資料に基づき、令和7年度青少年育成事業を報告した。

① 青少年課 ② 文化・交流課 ③ 人権・男女共同参画課 ④ 保育課

⑤ こども家庭課 ⑥教育指導課 ⑦ 子ども教育相談センター

⑧ 社会教育課 ⑨中央公民館 ⑩ スポーツ課

⑪ 中央図書館(青少年課代読) ⑫ 博物館 ⑬ 美術館

⑭平塚警察署(青少年課代読)

《質疑応答》

【A委員】

昨年度のはたちのつどいの参加率が75.01%となっており、参加される方が落ち着いてきているように見える。各部署で行っている催しでも参加率は増えているのか。また、積極的に参加しているように思える。積極的な子どもの育成の事業施策を元に計画決定していくものなのかをお聞きしたい。

【青少年課長】

青少年課ではびわ青少年の家についてはコロナ禍を超えて徐々に盛り返してきている。全体的には子どもが減っているため、海外派遣事業でも応募者は昔に比べると少なくなっている。

【A 委員】

他の課はいかがか。

【スポーツ課長】

少年野球大会、少年少女水泳大会、剣道大会、マラソン大会の競技スポーツの大会を開催しているが、傾向としては減少している。参加率は下がっている。原因としては、子どもが減っているの当然ですが、最近の傾向としては、色々な種目（バスケットボールやバレーボール、バドミントン）があり、市が開催していない種目に参加する。また、競技志向とレクリエーション志向の二極化している。周知はしているが参加者は増えていない。

## 5 連絡事項

【事務局】

（１） 今後のスケジュールについて

・今後１年間のスケジュールについて説明。専門部会については別途案内を送付する予定。

（２） 「はたちのつどい」について

・令和９年１月１１日（月・祝）に開催予定。委員の皆様に御来賓として案内を送付させていただくので、御都合がよければ御出席願いたい。

（３） 各専門部会について

・１１月～２月の開催予定で、開催日程が決まり次第通知をする。

（４） 審査会の日程について

・先ほど御選任いただいた「ウ」、「エ」の審査委員におかれましては、会議終了後、事務連絡させていただきたい。

## 6 閉会

【事務局】

以 上